



CIR (国際交流員) マリコの

Global Café



マリコ・ナイト

2016年12月 No. 4

11月の活動 市民ねっと楽学塾 ～マリコのティータイム～



11月22日、市民活動団体の「市民ねっと楽学塾」から私の出身地であるイギリスについてお話しをして欲しいと依頼を受け「Tea Time」とイギリスのEU脱退をテーマに講演を行いました。

イギリスと言えばやはり紅茶が非常に有名ということもあり、参加者の皆さんに本場のおいしい紅茶とお菓子を楽しんでもらい、ゆったりとした気持ちでイギリスという国の成り立ちや文化、地理、生活スタイルなどを学んでいただき、まるでイギリスに留学しているかのような気分になるよう企画しました。

最初に自己紹介をした後、「Tea Time」としておいしい紅茶の入れ方を説明し、イギリスブランドの紅茶「ヨークシャーティー (Yorkshire Tea)」とビスケット「チャーチルズ (Churchill's)」を振る舞い、ストレートティと牛乳入りの紅茶の飲み比べ、紅茶に対する表現「ダンキング (dunking)」や「ビルダーズティー (builder's tea)」等を紹介しました。参加者は満足した様子で「日本で売られている紅茶よりも深い味で香りが良い」や「ビスケットと紅茶がマッチしていてとてもおいしかった」という声が聞かれました。その後、EUから離脱するイギリスについて意見を交換し、私にとって「日本から見た世界」の理解を深める良い機会となりました。

これからもこういった企画を積極的に開催してきますので是非参加してくださいね。



11月の活動 同志社大学クローバー祭 SIED 物作りイベント

11月6日、同志社クローバー祭で「アトリエSIED～世界の雑貨を作ろう～」というイベントに、講師として参加しました。同志社大学留学生課が主催したこのイベントでは、講師の出身地にちなんだ雑貨作りを行い、その雑貨が生まれた背景について学ぶものでした。

イギリスでは11月5日に、「Bonfire Night (たき火の夜)」というお祝いの習慣があります。そこで参加者の皆さんと一緒にミニチュアのたき火の電飾を作り、その後たき火の夜の由来である「ガイ・フォークスと火薬陰謀事件」を紹介しました。

参加者の皆さんが熱心に取り組んでくださったこともあり、素敵なたき火の電飾がたくさんできあがり、私にとって楽しい時間となりました。ありがとうございました！

(次の活動について)

今月、精華町と木津川市の国際交流員とクリスマスイベント、「ウィンター・ワンダーランド」を開催しました。

詳しくは次号でお知らせします！



Bonfire Night の 食べ物とは？

Bonfire Nightでは大きなたき火や花火を眺める他に、Bonfire Nightの時に特別な食べ物も楽しむことができます。

フォイルに包んで焼いたホクホクのジャガイモ、ベーカドポテト (Baked Potato)



カリカリとしたキャラメルがついたトフィーアップル (Toffee Apple)と北イギリスでよく食べられているケーキ、パーキン (Parkin) というお菓子もあります。

